

# 第4次大月市行政改革大綱 平成25年度体系別進捗状況一覧

## 【進捗状況一覧表の見方】

- ①達成率について  
計画策定時に定めた推進計画を年度ごとに検証します。  
平成25年度に定めた目標に対して、実績・成果がどの程度達成しているかを表します。
  - ②最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況について  
平成28年度の最終目標に対して、現在のどの程度進捗しているかを以下の6段階で表します。
    - 6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した
    - 5 予定以上の進捗（当該年度の実績が取組内容以上に進捗した場合）
    - 4 予定通りの進捗（当該年度の実績が取組内容まで進捗した場合）
    - 3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。
    - 2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の実績が取組内容まで進まなかった場合）
    - 1 次年度以降に実施予定
- 具体的な事業の実施内容は「平成25年度実施計画シート」をご覧ください。  
（※大月市ホームページに掲載）

## 1 市民に開かれた市政の推進（指標13項目）

推進項目	具体的項目		平成25年度		達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容)	目標指標	実績要旨（取り組み内容）					
(1) 市民参画の推進と市民の声の反映	① 市民参画機会の拡充							
	(1) 公募委員の推進 達成委員会数/対象委員会数		各課に公募委員の参画を促した。また、公募委員参画基準の作成には至らなかったが、9月に大月市子ども・子育て会議の2名の委員を公募した。		70%	2 予定未達の進捗	1	企画財政課
	(2) 男女共同参画社会の推進 達成団体数/対象団体数		共通する男女共同参画推進基準(女性割合30%)を定めた。また、対象団体を選定した。		100%	4 予定通りの進捗	2	秘書広報課
	② 公聴機会の拡充							
	(1) 市長への手紙の推進 募集機会（媒体等）		専用用紙を市内公共施設に配置し、常時対応とした。なお、市長への手紙に対応するための庁内システムについては、浸透している。		100%	4 予定通りの進捗	3	秘書広報課
	(2) 市長の部屋の推進 発信機会（媒体等）		各議会開催ごとに所信、月ごとに交際費、週ごとに週間予定を発信することとし、更新頻度を高めた。なお、市ホームページ内の市長の部屋における市長への意見に対応するための庁内システムについては、浸透している。		100%	4 予定通りの進捗	4	秘書広報課
	(3) 出張市長室、地区対話集会の推進 年実施回数		対話集会：市政協力委員長委嘱式との同時開催により、5日間、5会場で実施した。 出張市長室：広報1月号の新春対談形式で実施した。また、市長が部等別に巡回し、市職員との意見交換を行った。		100%	4 予定通りの進捗	5	秘書広報課
	③ 協働体制づくりの構築							
	(1) アダプトプログラムの推進 団体の育成（参加）及び活動維持		平成25年度3月末現在 28団体参加。平成25年度中の新規参加団体はなかったが、代表者が変更になる団体にはアダプトプログラムの主旨を再度説明することで理解を深めていただき、意識の高揚に努めた。		80%	4 予定通りの進捗	6	市民課
	(2) 自治会組織充実の推進 自治連合組織の確立		自治会組織ごとの組、世帯数を最新の情報に更新した。また、行原地区などは、自治会組織がないことを確認した。		—	2 予定未達の進捗	7	秘書広報課
	(3) ボランティア活動の推進 ボランティアネットワークによるボランティア活動の円滑な運営		2月14日の大雪の経験を踏まえ、大月市社会福祉協議会において、雪害ボランティアを受け入れ、マッチングを行った。		100%	5 予定以上の進捗	8	福祉課
	(4) 観光ボランティアの推進 ガイド認定者数、案内人数の増加		市ホームページ等にて、大月市観光ボランティア及び8駅ボランティアガイドの募集を行った。 平成26年3月31日ボランティア応募数10名、猿橋案内人数16,899人（平成24年度18,177人）		92%	4 予定通りの進捗	9	産業観光課

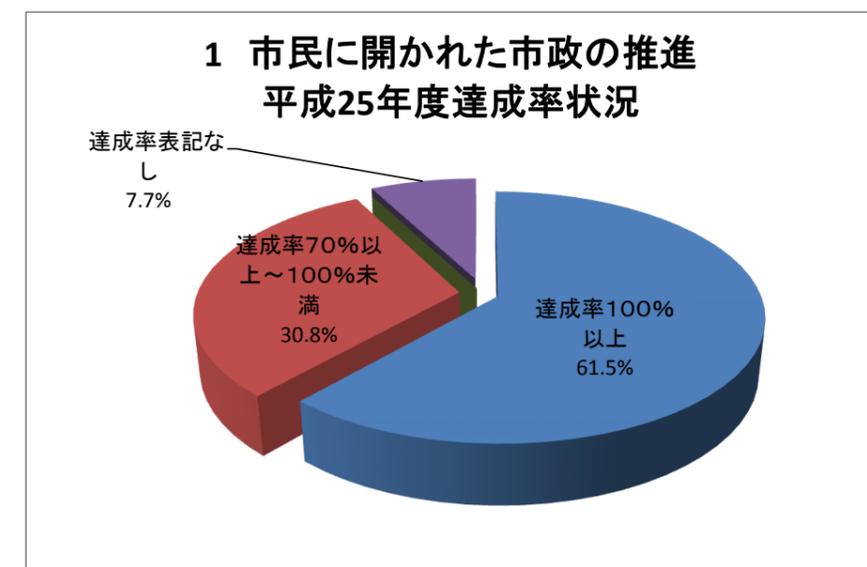
推進項目	具体的項目 事業内容(目安となる内容) 目標指標	平成25年度	達成率	最終目標(平成28年度)に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
		実績要旨(取り組み内容)				
(2) 公正の確保と透明性の向上	① 個人情報保護対策の推進					
	(①) 個人情報保護対策の推進 更新回数	平成25年5月に個人情報保護台帳を全課において見直し作業を実施し、修正等を行った。また新規取扱については、随時更新作業を実施した。	100%	4 予定通りの進捗	10	総務管理課
	(②) 情報セキュリティの推進 情報漏えい件数、研修の受講率	・情報漏えい 0件 ・情報セキュリティ研修の実施 ・受講コース数 6コース 受講者数(延べ数) 1,476人 終了者数(述べ数) 1,368人	93%	2 予定未達の進捗	11	企画財政課
(3) 広報活動の充実	① 市広報誌の充実					
	(①) 広報「おおつき」充実の推進 市民満足度調査の実施	毎月6~8ページをカラーページとした。また、カラーページの他、2色刷り2ページ(計4~6ページ)を、課別で自由記載方式の特集コーナーとした。市民満足度調査については、上記改善結果を含めて検証するため、アンケート調査を実施し、随時改善している。(26年度の特集コーナーは、ある程度のテーマ設定方式を予定)	100%	4 予定通りの進捗	12	秘書広報課
	② ホームページの充実					
	(①) ホームページ充実の推進 ホームページ閲覧人数	・10月からのフェイスブックの運用(9月まで試行)に伴い、ホームページと共に各課に協力員を置き、情報発信を強化した。 ・実績値…138,853人(H25.4.1~H26.3.31)	154%	5 予定以上の進捗	13	秘書広報課

■ 平成25年度達成率状況割合

達成率100%以上	61.5%	(8項目)
達成率70%以上~100%未満	17.3%	(4項目)
達成率70%未満	0%	(0項目)
達成率表記なし	7.7%	(1項目)

■ 検証・分析結果

- ・「(1) 市民参画の推進と市民の声の反映」  
全体的には順調に推移。ボランティア活動においては、大月市社会福祉協議会が、雪害ボランティアを受け入れ、支援が必要な方とのマッチングを行った。
- ・「(2) 公正の確保と透明性の向上」  
情報セキュリティの推進として、庁内ネットワークシステムを利用した情報セキュリティ研修が行われ、昨年度同様に受講者に対して、高い終了者数となった。
- ・「(3) 広報活動の充実」  
広報おおつき及びホームページについては、昨年につき目標以上の実績となった。ホームページについては大月市公式Facebookとの相乗効果で今後も閲覧回数の増加を目指す。



■ 平成28年度の目標に対する進捗状況について(指標13項目)

	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	0%	0
5 予定以上の進捗(当該年度の取組内容以上に進捗した場合)	15.4%	2
4 予定通りの進捗(当該年度の取組内容まで進捗した場合)	61.5%	8
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	0%	0
2 実施したが、予定未達の進捗(当該年度の取組内容まで進まなかった場合)	23.1%	3
1 次年度以降に実施予定	0%	0

## 2 効率的な行政運営の確立（指標20項目）

推進項目	具体的項目		達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	平成25年度 実績要旨（取り組み内容）				
(1) 事務事業の再編・整理、廃止・統合	① 行政評価システムの確立					
	(①) 行政評価の推進 大月市行政評価実施要綱の改正	・昨年度に引き続き116項目の指標について事務事業事後評価を行った。 ・24年度事後評価を取りまとめ8月に行政評価検討委員会の評価を行い、議会に説明後、広報、ホームページで公表した。	50%	2 予定未達の進捗	14	企画財政課
	② 事業仕分けの検討及び実施					
	(①) 事業仕分けの推進	※進行管理なし	—	進行管理なし	—	—
	③ 各種行事、イベントの効率化					
	(①) 各種行事、イベント見直しの推進 見直し実施回数	各種事業、イベントごとの経費、参加者数の推移、類似イベントの有無等を調査したものの、他市の状況の確認は行っていない。	50%	2 予定未達の進捗	15	福祉課
(①) 各種行事、イベント見直しの推進 見直し実施回数	かがり火市民祭りや大ツキ軽トラ市の運営体系は、市民有志が立ち上げ、地元の大月短期大学生が調査、検証して行政が補助金の支出や事務局を補助するという他には見受けられない特殊なケースであることから、単純に他市の類似イベントと比較検証することが難しいことが調査によって判明した。今後は、引き続きイベントごとの経費等を検証し、必要に応じて行政の関わり方の見直しを行っていききたい。【※詳細は実施計画シートを参照】	80%	3 現在の内容が妥当と判断	16	産業観光課	
(①) 各種行事、イベント見直しの推進 調査、検討回数	他の部署で行われている行事・イベントと連携して良いのではないかとこの行事はあるが、費用、日程、主管、開催行事等について調整中であり、更に検討をしていく。県内市町村の実施している行事は現在も調査中である。	40%	1 次年度以降に実施予定	17	社会教育課	
(2) 柔軟な組織・機構への再編・改善	① フラットな組織の改編					
	(①) 組織、機構見直しの推進 意見聴取実施回数	雇用と年金の接続のための再任用制度が、26年度から始まるために秘書広報課人事担当と組織機構、業務内容についてアンケート調査を行った。組織機構の見直しは、25年度に大幅な改正を行ったので、大月短期大学付属高校の閉校に伴う改正のみを行った。	100%	4 予定通りの進捗	18	企画財政課
	② 職員の適正配置					
	(①) 適正な人材配置の推進 異動希望調査及び人事評価の実施回数	今年度も異動希望調査及び人事評価を実施し、4月1日人事異動の基礎資料として活用した。	100%	4 予定通りの進捗	19	秘書広報課
③ 大月短期大学の将来構想策定						
(①) 将来構想策定の推進 将来構想の策定	学内に将来構想委員会を組織し、25年度上期において、「コース選択制の基本方針（骨子）」をまとめ9月の教授会の承認を得た。下期には委員会の活動として、基本方針を前提に次の項目を企画・計画化し、「コース選択制の導入計画」を作成した。【※詳細は実施計画シートを参照。】	100%	4 予定通りの進捗	20	短大事務局	
(3) 効率的な公共施設の管理運営	① 公共施設・サービスの検討					
	(①) 民間委託の推進 民間委託の基本的な方針の決定	平成25年4月から「大月市行政業務の民間委託に関する計画」の導入を見送ったところである。国による法律改正等もなく、新たに市のメリットが発生する状況になかったため、情報収集を継続した。	50%	3 現在の内容が妥当と判断	21	企画財政課
	(②) 給食センター 管理運営検討の推進 方針の決定	職員の退職等により、パート職員を増やし経費削減に努めるとともに、バランスのとれた栄養のある食事を提供し、児童生徒の健康の増進及び心身の健全な発達を図りました。また大月市学校給食センター民間委託等庁内検討委員会において、今後調理員が定年退職や配置換えなどにより、その数が減少した時点で、保護者や学校関係者の理解を得る中で、民間委託への移行を検討するという方針となっている。【※詳細は実施計画シートを参照】	100%	4 予定通りの進捗	22	学校教育課
	(③) 社会教育施設 管理運営検討の推進 調査・検討回数	各施設ごとに経費、利用状況について集計した。満足度のアンケートは実施していないが利用者からの声で老朽化や機能不足については不満が多い。民間活力の導入は効果が低いことが明らかになっている。	100%	4 予定通りの進捗	23	社会教育課
(③) 社会体育施設 管理運営検討の推進 委員会の設置・審議会の開催	スポーツ施設の利用者数は、経年的に減少の傾向となっている。地域的なバランスも考慮しないと、単に老朽化や、利用者の減少の理由だけでは廃止は困難であり、更にデータを集積する必要がある。	0%	1 次年度以降に実施予定	24	社会教育課	

推進項目	具体的項目		達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名	
	事業内容(目安となる内容)	実績要旨（取り組み内容）					
(3) 効率的な公共施設の管理運営	(4) 火葬場 管理運営検討の推進 施設の方向性の決定	施設の適切な運営と故障など不測の事態への対応等を考慮し、平成24年度から管理運営業務を火葬炉メーカーに委託するとともに、保守点検を適宜行い適切な施設の修繕を行うことで施設の延命化に努めている。施設の更新は、都留市、上野原市との共同設置と運営は厳しい状況であることから、単独で設置することを前提として現在地への立て替えを基本に建設時期と併せ、検討を進めている。	100%	4 予定通りの進捗	25	市民課	
	(5) ふれあいの館 管理運営検討の推進 入場者数の増加	・ふれあいの館を改修し、25年4月13日に1階に「白旗史朗写真館」としてリニューアルオープンした。 ・集客人数 平成22年度4,015人、平成23年度3,149人、平成24年度3,406人、平成25年度 3,877人	103%	5 予定以上の進捗	26	産業観光課	
	② 公共施設の適正規模化推進						
	(1) 小中学校の適正配置、統廃合の推進 計画に基づく適正配置	大月第一中の閉校事業を実施し、3月に閉校式典を行った。大月東中学校関係：2月の大雪による影響で大月東中学校が排雪場となったことから、工事が遅れ、完成は平成26年5月中旬となった。大月東小学校関係：実施設計について業務を完了した。	100%	4 予定通りの進捗	27	学校教育課	
	(2) 公立保育所の適正配置、幼保一元化推進 進捗状況	平成26年1月31日第一回大月市子ども・子育て会議を実施し、次世代育成行動計画後期計画を基に25年12月から26年1月に実施したニーズ調査を踏まえて、地域の実情に即した適正配置となるよう検討していくことを確認した。	100%	4 予定通りの進捗	28	福祉課	
	(3) 公民館、集会施設等適正配置検討の推進 検討回数	各地区分館の利用状況の把握のため、各分館の管理日誌の記録を依頼した。平成26年度の公民館運営審議会の席上でデータを提出していただく予定である。耐震診断については対象の4公民館、10分館のうち1公民館以外は耐震強度がないという結果であった。	0%	4 予定通りの進捗	29	社会教育課	
	(4) 教員住宅の適正配置検討の推進 教職員の充足率に合わせた適正化	平成25年度の各教員住宅の入居者は、百蔵住宅1戸・浅利住宅2戸・強瀬住宅15戸となっており、全体の入居率は51.4%である。強瀬教員住宅については、全戸が入居した。百蔵住宅については、世帯用住宅は、建築年度が古く、毎年1～2世帯の入居であるため、用途廃止等の検討を行うこととした。	—	4 予定通りの進捗	30	学校教育課	
	③ 大月高校の閉校準備						
	(1) 閉校に向けた計画策定の推進 計画の実施	平成26年3月1日閉校式、記念碑除幕式を実施した。また、「感謝の会」をアピオプラザで同窓生350人あまりの参加により実施。3月15日附属高校に不要備品の販売を卒業生・市民に行った。山梨県教育委員会に閉校に伴う廃止承認事務を行った。閉校に伴い条例の廃止、一部改正等の処理及び短大事務局への事務の移管等を行った。	100%	4 予定通りの進捗	31	短大事務局	
	(4) 広域行政の推進	① 広域行政の推進					
(1) 行政事務共同化の推進 追加する共同事業：1事業		山梨県市町村総合事務組合における事務の共同処理を進めるため、組合市町村担当課長会議にオブザーバーとして3回出席した。大鶴楽生園の民営化は、山梨県東部広域連合で募集要項を策定し、移管法人の選定のため民営化選考委員会を設置した。	50%	4 予定通りの進捗	32	企画財政課	
(2) 消防業務広域化の推進 消防業務の広域化・高機能指令センターシステムの整備		都留市・大月市・上野原市高機能消防指令センターの実施設計が終了し、入札に向けて事業を進めているところである。	100%	4 予定通りの進捗	33	消防本部	

■ 平成25年度達成率状況割合

達成率100%以上	55%	(11項目)
達成率70%以上～100%未満	5%	(1項目)
達成率70%未満	35%	(7項目)
達成率表記なし	5%	(1項目)

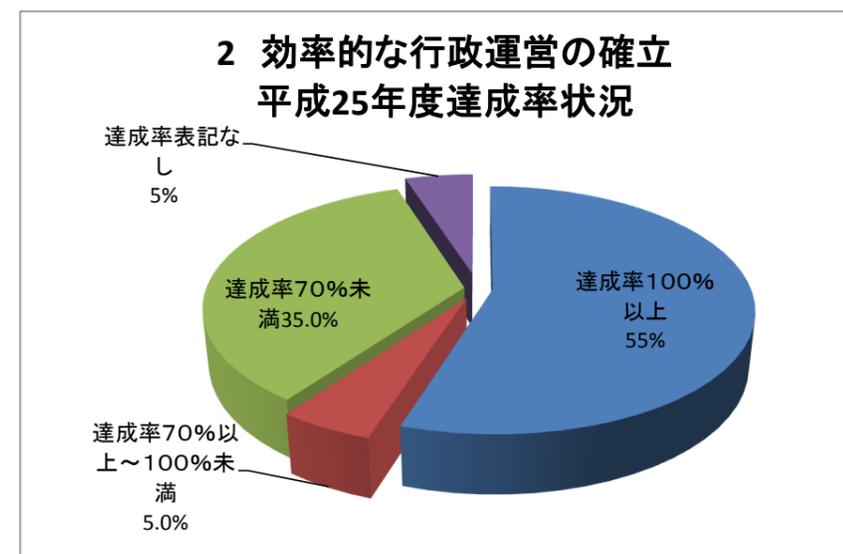
■ 検証・分析結果

・「(1) 事務事業の再編・整理、廃止・統合」

行政評価については、平成24年度から再開されており、前年度に引き続き実施した。予定未達の項目については、次年度以降に実施予定である。

・「(2) 柔軟な組織・機構への再編・改善」

大月短期大学附属高校の閉校に伴う職種替え、年金の無支給期間に対応するための再任用制度の検討を行い、適正な職員配置を行った。



・「(3) 効率的な公共施設の管理運営」

民間委託について、現在の法律では一部の事業のみを対象としているため十分なメリットがなく導入を見送った経緯があり、今後民間委託についての法律改正により再度検討することとし、引き続き情報収集に努める。大月高校の閉校、小中学校及び保育所の適正配置は予定通りの進捗である。

ふれあいの館はリニューアル後、目標以上の利用者数があり、火葬場についても予定通りの進捗となっている。予定未達の項目については、次年度以降に実施予定である。

・「(4) 広域行政の推進」

行政事務共同化については停滞。消防業務の広域化については、3市（大月市・都留市・上野原市）で取り組むこととなった高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システムの整備については、予定通りの進捗状況となっている。

■ 平成28年度の目標に対しての進捗状況について（指標20項目）	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	0%	0
5 予定以上の進捗（当該年度の取組内容以上に進捗した場合）	5%	1
4 予定通りの進捗（当該年度の取組内容まで進捗した場合）	65%	13
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	10%	2
2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の取組内容まで進まなかった場合）	10%	2
1 次年度以降に実施予定	10%	2

### 3 健全な財政運営の推進（指標46項目）

推進項目	具体的項目	平成25年度	達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）				
(1) 財政運営の健全化	① 健全な財政運営の推進					
	(①) 一般会計における目標設定と推進 将来負担比率、実質公債費比率	健全な財政運営を目指し、土地開発公社解散のため、第三セクター等改革推進債発行の許可を9月上旬に受け、9月下旬に21.5億円を借り入れ、公社負債の代位弁済を行った。この借入れの20年返済を加味した「中・長期財政見直し」を、実質公債費比率及び将来負担比率の推移見込みを含め策定し、11月には公表、12月には管理職研修を行った。【※詳細は実施計画シートを参照】	70%	2 予定未達の進捗	34	企画財政課
	② 受益者負担の適正化					
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内各市に手数料の調査をしたところ同等であり、現在の料金で妥当と思われる。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	35	税務課
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内各市の手数料を調査し、他市との比較を行った結果、適正な設定であることを確認した。（自動交付機や住基カードによるコンビニ交付を除く）	100%	4 予定通りの進捗	36	市民課
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、見直し回数	狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防という観点から現在の料金は妥当であり、かつ県内他市町村で料金の見直しの動きがないことから、現段階において見直しの必要はないものと思われる。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	37	市民課
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、見直し回数	事業を実施している周辺市町村の状況調査及び見直しは実施していない。平成25年度実績は申請地区数75件（前年比4件増）、故障による修理回数4回、昔ながらの家屋が多く存在する地区では効果が実感されている一方で、その他の地区では事業自体が地域の年間イベントの一つとなっているような様相を呈している。	50%	1 次年度以降に実施予定	38	市民課
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市料金を比較し検討した結果、現在の内容は妥当と判断し同額とした。今後も継続して内容を検証していく。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	39	保健介護課
(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	健診の自己負担金は、平成20年度から2割の自己負担金を徴収している。平成25年度は、大月市立中央病院の健診単価が高騰したため、平成26年度に向けて自己負担金については検討予定。もぐもぐ教室において材料費として参加者一人当たりにかかる実費300円を徴収し、実費範囲内で賄っている。	50%	1 次年度以降に実施予定	40	保健介護課	
(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市の状況について調査し、比較検討を行ったところ、使用料は適正であることを確認した。今後は他市の設定根拠についても調査をしていく必要がある。	80%	4 予定通りの進捗	41	産業観光課	

推進項目	具体的項目	平成25年度	達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名	
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）					
(1) 財政運営 の健全化	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 適正な対象物件の抽出と、使用料の徴収	東京電力、NTT東日本などの架空線の占用について各占用者が市街地から調査を開始している。市内全体は数年を要す見込み。	—	4 予定通りの進捗	42	建設課	
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、比較、検討回数	他市町村の同等施設との比較においては本市施設の使用料に著しい高低差があるとは言えず、適正の範囲と考えられる。費用対効果の観点からは、かなり低額な設定であるが、周辺他市町村の動向から逸脱できない現状である。減免規定については、明確な基準を定めるため更なる検討が必要。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	43	社会教育課	
	(①) 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し回数	診断書料等の文書料については、他の公立病院の書類料金を調査した結果、料金の見直しを行うこととし、平成26年3月議会に「大月市立中央病院使用料等徴収条例改正の件」を上程し、議決を得たことから、平成26年4月1日から新たな料金で運用を行っている。また、「保育室利用負担金」については、看護師の確保に労働環境の整備が必要不可欠なこと、さらには現在の保育室利用者数などを総合的に勘案する中で、今後、「負担金の見直しについて」検討していきたい。	80%	4 予定通りの進捗	44	中央病院	
	<b>③ 公有財産有効活用の推進</b>						
	(①) 未利用財産処分の推進 売り出し回数	払い下げ希望者に対して随時処分しているが、積極的な公募による売り出しまでには至っていない。 平成24年度処分実績：5件、527.32㎡、14,523,699円 一般競争入札による市有財産売払い公募 1回	50%	2 予定未達の進捗	45	総務管理課	
	<b>④ 経費の節減・削減</b>						
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内他市との状況を比較するには、それぞれの団体と各自自治体の連携に差異があるため単純な比較は困難である。また、すでに平成22年度から補助金を削減していることから、今後も交通安全対策推進事業を連携して行っていながら活動の状況を注視し、適正な補助金の交付に努める。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	46	市民課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	太陽光発電システム設置費補助金については、平成25年度は57件の補助金申請があり、太陽光発電システム自体が市民に広く浸透してきている。今後も申請が見込まれる中で、他市との状況を比較しても金額は適正であると思われる。生ごみ処理機及び生ごみ処理容器設置費補助金については、平成25年度はそれぞれ3件と2件の申請があり、ここ数年は同程度の申請件数で推移している。このことを踏まえて、当初の事業の目的を鑑み、見直しを行う予定である。	50%	1 次年度以降に実施予定	47	市民課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	敬老祝金の101歳以上については、5万円を3万円に減額。長寿祝金については、20万円を10万円に減額。子育て支援手当事業については、出生育児支援手当の第3子以降30万円を第1子以降3万円に見直し、就学支援手当を廃止した。なお、出生育児支援手当は経過措置として、平成25年度中に出生した第3子以降については30万円を支給。子育て支援医療費助成事業の入院助成について、小学校6年までを中学3年生まで実施した。	100%	4 予定通りの進捗	48	福祉課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	医師会・歯科医師会の補助金については、市の保健行政への協力をいただいております。補助金は適正であると思われ、今後も継続して内容を検証する。また保健活動推進委員会への補助金については、食育・愛育・運動などの推進を行い、活動の実績もあり、また会としても会費を徴収している。今後も活躍が期待される中では、会の運営についての検証を継続していく。	50%	3 現在の内容が妥当と判断	49	保健介護課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市の補助金、負担金の交付状況の確認を行ったが内容の検証、見直しには至っていない。交付金額の妥当性についても他市の状況や負担金の内容を精査するうえで、見直しを検討したが、実行に至っていない。今後、新規商品の開発や新規事業を積極的に実行する団体とそうでない団体によって補助金の配分も進めていきたい。	50%	2 予定未達の進捗	50	産業観光課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市の状況については調査実施はしていない。県内他市との状況を比較するには、各自自治体間に差異があるため単純な比較が困難であると思われるが、状況に応じて調査を行うこととしている。補助金申請に基づき、内容を精査したところ、適正であった。事業終了後、実績報告書において、確認を行っている。	0%	1 次年度以降に実施予定	51	学校教育課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	各市町村の補助金、負担金の交付状況の調査は対応できなかった。 交付事業の内容については、明確な実績報告書の作成を依頼しており、徐々に趣旨を理解いただけるようになっている。	20%	2 予定未達の進捗	52	社会教育課	
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市町村の補助金の交付状況については調査は実施している。消防団第4分団（奥山地内）の火の見やぐらの修繕金額336,000円（交付金額112,000円）、消防団第4分団（浅利地内）詰所修繕金額151,620円（交付金額50,000円）、消防団第1分団（原地内）10,101,000円（交付金額2,000,000円）	50%	2 予定未達の進捗	53	消防本部	
	(②) 経費節減マニュアルの推進 取り組み状況	大月市行政経費節減マニュアルについて見直し検討中。 冷暖房の使用抑制管理の周知徹底、夏の電力使用抑制の取り組み等を実施した。	20%	1 次年度以降に実施予定	54	企画財政課	
	(③) 公用車経費節減、削減の推進 車両台数の削減	減：集中管理の軽貨物1台、給食センターの配送車1台、事故により破損した1台の計3台を処分。増：事故に伴い減となった集中管理1台をリースし、結果、増1台、減3台で2台の削減となった。平成25年度末の現有車両数は78台となる。議長車1台をリースで、消防車両4台（消防本部1台・消防団3台）を入替で更新した。	200%	5 予定以上の進捗	55	総務管理課	
	<b>⑤ 市税等の滞納対策強化</b>						
	(①) 市税 滞納対策の推進 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知（初めて滞納額を公表した）、コンビニ収納の実施（2億2千万円の収納実績）等を実施した。【※詳細は実施計画シートを参照】 （平成24年度収納率98.34%、平成25年度収納率98.32%）	99.88%	4 予定通りの進捗	56	税務課	

推進項目	具体的項目	平成25年度		達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）					
(1) 財政運営の健全化	(2) 国民健康保険税 〃 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知（年1回）、コンビニ収納の実施（6千2百万円の収納実績）等を実施した。【※詳細は実施計画シートを参照】 （平成24年度収納率89.54%、平成25年度収納率90.04%）	100.06%	4	予定通りの進捗	57	税務課
	(2) 国民健康保険税 〃 未納状況通知回数	年間を通して広報等を活用し国民健康保険制度への理解や周知を行った。短期証更新時において滞納額が多いにも関わらず、納付額があまりにも少ない場合は、滞納者に対し税務課職員と一緒に相談に応じ、国保にかかる医療費について説明を行いながら、収納の向上に努めた。徴収月間（10-12月）には税務課の職員と訪問徴収を行った。	50%	2	予定未達の進捗	58	市民課
	(3) 後期高齢者医療保険料 〃 未納者に対するの収納割合	保険料の納付も年金からの特別徴収が多いため、収納率も県平均を上回り、制度的には安定しているが、それでも未納の被保険者に対し、徴収月間（10-12月）には税務課職員と訪問徴収を行い、出納閉鎖前には電話による催告を行った。 （平成25年度収納率99.12.%）	64%	2	予定未達の進捗	59	市民課
	(4) 介護保険料 〃 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知（年1回）、文書による催告（1度実施）等を実施した。【※詳細は実施計画シートを参照】 （平成24年度収納率98.84%、平成25年度収納率98.90%）	99.96%	4	予定通りの進捗	60	税務課
	(4) 介護保険料 〃 実施回数	関係課と連携し、11月と2月の訪問徴収を計画し、11月に7日間54件の訪問徴収を実施した。なお、2月は大雪のため中止となった。	33%	2	予定未達の進捗	61	保健介護課
	(5) 保育園費負担金 〃 収納率	前年度に引き続き児童手当支払（6、10、2月）時に催告書を発送し納付相談を行い、児童手当を窓口払いにし、滞納繰越分の収納向上を図ったが、滞納繰越分収納率は平成25年度23.08%であった。今年度は、自宅、会社等への訪問も実施し、1名は完納した。	65%	2	予定未達の進捗	62	福祉課
	(6) 市営住宅使用料 〃 毎月、未納を確認した時点で電話催告、訪問徴収等実施回数	毎月、前月の口座振替不能者へ納付書を未納者へ督促状を送付、滞納月3ヶ月以上の滞納者には催告書及びその連帯保証人に納付依頼書を5月、9月、12月、3月に送付した。また、滞納者には、随時電話による催告、適時昼間及び夜間（午後8時まで）訪問を実施し、納付指導及び徴収を行った。【※詳細は実施計画シートを参照】	100%	4	予定通りの進捗	63	建設課
	(7) 簡易水道使用料 〃 訪問徴収回数	毎月、納付書発送時に滞納者に督促状を発送し、滞納者に対しては、随時電話、訪問による督促や訪問時に集金を行なっている。高額滞納者については、来庁、または訪問する日を決めておくなど定期的に集金を行い、未納額を減らすよう対応している。また、25年度に簡易水道料金滞納整理の対応方針（内部規定）を定めており、これに基づき随時対応している。	100%	4	予定通りの進捗	64	地域整備課
	(8) 学校給食費負担金 〃 実施回数	未納者に対して、各学校で毎月督促状の送付や電話対応を実施しました。また、学校給食センターにおいても、10月と3月の計2回、未納者に対して訪問徴収を行い収納の向上を図った。	90%	4	予定通りの進捗	65	学校教育課
	(9) 下水道受益者負担金 〃 事業説明回数	平成25年度賦課対象件数は42件であり、その内の25件が受益者負担金徴収対象となった。（残り17件は徴収猶予となっている。）賦課対象者に対して、申告書配付の際に個別訪問を行い、費用負担への理解を求めた。その結果、調定額に対して全て徴収することができたため、滞納はない。	100%	4	予定通りの進捗	66	地域整備課
⑥ 公営企業繰出金の適正運用							
	(1) 東部地域広域水道企業団への繰出金等の適正化推進 幹事会等における協議回数	平成25年度に幹事会における協議を3回開催した。平成24年10月に第1段階として平均9.8%の水道料金の改定を行った。平成25年6月に第2段階として平均9.1%の料金改定を実施している。また、第1回幹事会において策定された東部地域広域水道企業団地域水道ビジョンについて、今後30年間の施設・管路の更新費用や財政収支を踏まえ内容の報告を受けた。【※詳細は実施計画シートを参照】	100%	4	予定通りの進捗	67	地域整備課
(2) 定員管理・給与等の適正化	① 定員管理の適正化						
	(1) 定員適正化計画の推進 意見聴取実施回数	大月高校閉校に伴う職種替え、年金の無支給期間に対応するための再任用制度の検討を行い、各課から職員配置の現状と次年度以降の事務量増減の状況を聴きとる中で、適正な職員配置に努めた。	100%	4	予定通りの進捗	68	秘書広報課
	② 給与制度の適正化						
	(1) 給与制度の推進 見直し回数	本年度は総務大臣より国家公務員が復興財源確保のため実施している給与削減に地方自治体も協力する旨の要請があり、7月から3月の9ヶ月間給与削減を実施してきた。また、人事院及び山梨県人事委員会の勧告内容を注視しながら、給与制度の適正化に努めてきた。	100%	4	予定通りの進捗	69	秘書広報課
(3) 特別会計等の事業健全化	① 中央病院の経営健全化						
	(1) 中央病院改革プランの推進 経営の効率化における目標数値	中央病院改革プラン2013を策定すると共に、平成24年度末の進捗・評価を作成し中央病院運営委員会へ図り、庁議において承認を得て広報及びホームページで公表した。経常収支比率は95.8%で、計画値（97.9%）に対し2.1ポイント及ばなかった。	97.85%	2	予定未達の進捗	70	保健介護課
	(2) 中央病院事業の健全化 病院基本構想の見直しとその推進	中央病院事業の健全化については、平成23年度に策定した基本計画に基づき地域医療再生計画基金を活用した新病棟の建設は完成し、今後、既存棟改修等により、良質な医療の提供及び救急医療の充実等医療環境の整備を推進している。並行し医師・看護師等の医療スタッフの確保に努め、中央病院経営の健全化を図っている。	50%	4	予定通りの進捗	71	中央病院

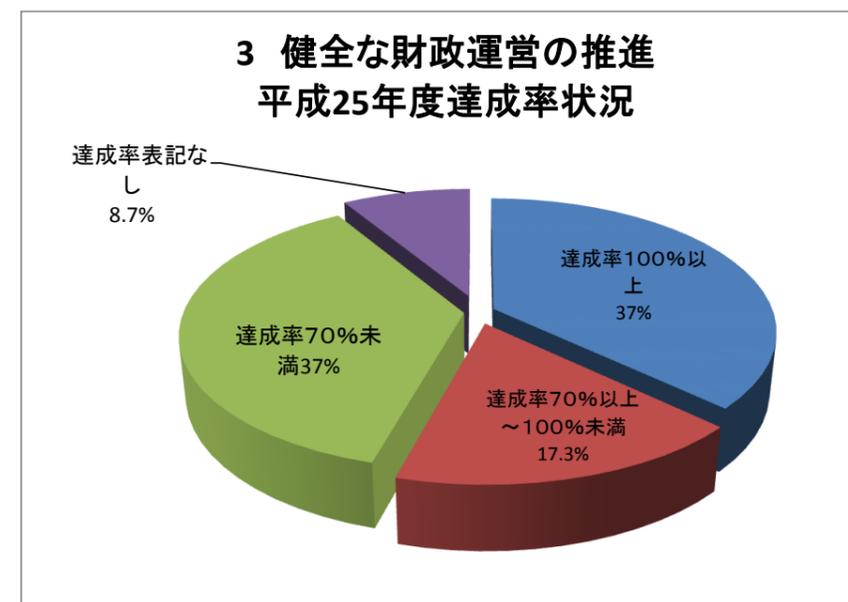
推進項目	具体的項目		平成25年度	達成率	最終目標（平成28年度）に対する現時点での進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容)	目標指標	実績要旨（取り組み内容）				
(3) 特別会計等の事業健全化	② 各事業健全化の推進						
	(①) 国民健康保険特別会計 健全化の推進 現年収納率による適正健全な事業運営		平成25年度末の一般被保険者の医療給付費の状況は、24年度と比べると減少し、国保会計全体でも支出が減少となった。今年度の保健事業については、受診機関である中央病院が建設中であったためバス健診を取り入れたり、特定健診の未受診者の中から、かかりつけ医による情報提供を行った。【※詳細は実施計画シートを参照】（※平成24年度収納率89.54% 平成25年度収納率90.04%）	100.06%	4 予定通りの進捗	72	市民課
	(②) 後期高齢者医療特別会計 “ 制度を理解してもらうための広報の回数		毎月の広報の中に国保高齢者医療の枠があり定期的に情報を掲載した。制度も5年が経過し高齢者に定着してきている。また保険料の納付も年金からの特別徴収が多いため、収納率も県平均を上回り、制度的には安定している。	80%	4 予定通りの進捗	73	市民課
	(③) 介護保険特別会計 “		※進行管理なし	—	進行管理なし	74	保健介護課
	(④) 介護サービス特別会計 “		※進行管理なし	—	進行管理なし	75	保健介護課
	(⑤) 簡易水道特別会計 “ 簡易水道運営委員会における経営健全化協議回数		25年度において簡易水道運営委員会における経営健全化協議は実施していないが、簡易水道事業の今後のあり方を検討し、このなかで現状と将来見通しを分析し簡易水道基本計画（案）として簡易水道事業等の将来構想（ビジョン）を策定した。経営健全化協議は、この将来構想（ビジョン）を基に26年度に実施することとした。	0%	1 次年度以降に実施予定	76	地域整備課
	(⑥) 下水道特別会計 “ 経営シミュレーションシステムの作成		下水道事業の経営健全化については、費用対効果を検証する中で、事業計画の見直しを県へ確認しながら行っている。事業計画の途中であり、上位計画である桂川流域下水道事業の計画見直しが平成32年度に行われるのに合わせ、事業計画の削減を実施すべく、削減区域の優先度を検討した。現計画では、平成49年度事業完了予定となっている。	50%	4 予定通りの進捗	77	地域整備課
	(⑦) 大月短期大学特別会計 “ 黒字収支による事業運営の実施		一般会計繰出金については概ね継続された。基金への積立も通常分は継続された。また、閉校記念事業実行委員会から47,877,050円寄附採納があり短大及び付属高校教育施設整備基金に積み立てた。3月25日大月短期大学校舎新增改築事業基本設計の基本設計が完了。大月短期大学校舎C号棟バリアフリー化工事中（11/18～7/30）	100%	4 予定通りの進捗	78	短大事務局
(⑧) 土地開発公社会計 “		※既に土地開発公社の解散が確定したため進行管理なし	—	進行管理なし	79	土地開発公社	

■ 平成25年度達成率状況割合

達成率100%以上	37.0%	(17項目)
達成率70%以上～100%未満	17.3%	(8項目)
達成率70%未満	37.0%	(17項目)
達成率表記なし	8.7%	(4項目)

■ 検証・分析結果

- 「(1) 財政運営の健全化」  
市税等の滞納対策については、目標に対しては予定通り進んでいる。  
予定未達の項目については、次年度以降引き続き見直しを実施していく。
- 「(2) 定員管理・給与等の適正化」  
総務大臣より国家公務員が復興財源確保のため実施している給与削減に地方公共団体も協力する要請があり、7月から3月の9か月間給与の削減を実施した。また、大月短期大学附属高校の閉校に伴う職種替え、年金の無支給期間に対応するための再任用制度の検討を行い、適正な職員配置を行った。



・「(3) 特別会計等の事業健全化」

中央病院事業については平成31年度末で経常収支が黒字となる「中央病院改革プラン2013」を策定し、新病棟の建設と並行して医師や看護師等の医療スタッフの確保に努め、経営の健全化に向けて進めている。  
簡易水道特別会計、下水道特別会計については、現時点での達成率が低いですが、経営改善や事業計画の見直しに向けて、着実に進めている。

■ 平成28年度の目標に対する進捗状況について（指標46項目）	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	0%	0
5 予定以上の進捗（当該年度の取組内容以上に進捗した場合）	2.2%	1
4 予定通りの進捗（当該年度の取組内容まで進捗した場合）	43.6%	20
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	13%	6
2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の取組内容まで進まなかった場合）	21.7%	10
1 次年度以降に実施予定	13%	6
進捗状況標記なし	6.5%	3

【これまでの具体的な成果】

・ホームページの充実（秘書広報課 実施計画シートP13）

大月市公式フェイスブックとの連携により、平成24、25年度において、ホームページ閲覧者が増加する結果となった。

・ふれあいの館の改修（産業観光課 実施計画シートP26）

平成25年4月13日に、ふれあいの館の1階部分を「白籐史朗写真館」としてリニューアルオープンしたところ、入場者数が増加する結果となった。  
（平成25年度3,877人 平成24年度3,406人）

・診断書料等の文書料金の見直し（中央病院 実施計画シートP44）

診断書料等の文書料について、他の公立病院の書類料金を調査した結果、料金の見直しを行うこととし、平成26年3月議会に「大月市立中央病院使用料等徴収条例改正の件」を上程し、議決を得たことから、平成26年4月1日から新たな料金で運用することとなった。

・敬老祝金及び長寿祝金の見直し（福祉課 実施計画シートP48）

敬老祝金及び長寿祝金の見直しを実施した。敬老祝金の101歳以上については、50,000円を30,000円に引き下げ、長寿祝金を200,000円から100,000円に引き下げた。その財源で、中学生の医療費助成制度を導入した。

・公用車経費節減、削減の推進（総務管理課 実施計画シートP55）

公用車を3台処分、1台をリースで取得し、結果2台の削減を図った。平成25年度末の現有車両数は78台となった。また、議長車1台をリースで、消防車4台（消防本部1台、消防団3台）を入れ替えて更新した。